総社市立秦小学校　**学校だより**　令和５年度　第２６号
１０月５日（木）

☆　『ぜんぶ言えるようになったよ。』　☆

『校長先生聞いてください。』お昼休み校長室への訪問者です。『僕だけじゃなくって今みんなが練習しているので来てください。』３年生の教室に入ると、何人かが集まっていました。「葡萄の種類全部言えるかな問題」を互いに出し合って、答えられるか試しています。

写真にあるとおり 10 月の品格目標が「ふるさと愛」です。学校の目の前の畑で育てた秦地区特産のニューピオーネはおかげさまで順調に成長し、立派な実をつけて収穫することができました。お世話していただいた松本さんにはたくさんのことを教えていただきました。子どもたちがいないときにも何度も葡萄の様子を見に来てくださっていました。ありがとうございました。 登校ボランティアで来てくださっている板野さんからも「おいしいから先生方でどうぞ」と立派なシャインマスカットをいただきました。冷やして食べると口当たりの良い甘さが広がって最高においしかったです。何粒でも食べられそうでした。

技術が進んで、おいしくて・甘くて・食べやすい葡萄がどんどん改良・開発されています。私たちが子どものころには聞いたことのない品種がたくさん出回るようになりました。

今やタネのある葡萄を口にすることが少なくなったのですが、昔は昔で、田んぼでタネ飛ばしとかして競い合ったのも懐かしいです。

秦小学校の子どもたちが大人になった時『秦の葡萄ってこんなふうに作られているんだよ。だからおいしんだよ。』と必ず伝えてくれるはずです。私もスーパーマーケットで果物コーナーを見つけたら生産地を見るようになりました。知っている地名だと買ってみたくなります。

『ふるさと愛＝ふるさと自慢』だと思います。できあがったモノだけでなくてそれを大切に作り上げてきた人々の歴史にも視点を当てて子どもたちは学習しています。自信をもって自分たちの過ごした土地の自慢話をしてほしいです。